

## 海外派遣留学プログラム報告書

(報告期間：2021/7/23 ～2021/9/31)

自分が留学準備をしたときに、ほしい情報を見つけるのが難しかったため、今後ウィスコンシン大学ミルウォーキー校に留学する人の参考になるよう、できるだけ多くの情報を書きます。

### 1. 勉学の状況

#### ○授業

私は、前期は自分の専門よりも語学力の向上を意識し、後期から専門である教育の授業を取るよう考えています。このプログラムでは基本的に好きな授業を取ることができ、最低12単位から18単位まで取ることができます。ほとんどの授業が1クラス3単位なので4クラスから6クラスとることになりますが、1クラス週に2、3回の1時間程度の授業または1回の長い授業でかつ課題も日本の大学よりは重いので、18単位取ると大変だろうと思います。私の履修している授業は以下です。

授業名	単	スケジュール	概要	課題
EAP 101 (College Writing- Multilingual English)	3	月水金 12:30 - 13:20	要約や引用などアカデミックライティングの授業	毎回、文を読んで要約を書くなど重めの課題
EAP 145 (Practice: Academic Listen & Speak English)	3	火木 11:00 - 12:15	プレゼンなど話す、聞く、を目的とした授業	本を読んでクイズに答えるものや、プレゼンの準備
ED POL 112 (Introduction to Community Education)	3	木(3週間に1度) 16:30 - 20:40	コミュニティ教育を学ぶ	毎週、本を読んでコメントを投稿する
ED POL 113 (The Milwaukee Community)	3	月水 09:30 - 10:45	ミルウォーキーの歴史や現在	本の要約とプレゼンの準備
ART ED 130 (Multicultural Art & Visual Learning Elem Ed)	3	金 09:00 - 11:30	アート教育の授業	文を読んでコメントの提出と、いくつかのアート活動

感想としては、日本の授業よりも課題が多くまた成績も出席よりもテストや課題の配点が大きいため、違いを感じました。授業はセカンドランゲージのための英語の授業では先生が分かりやすくしゃべってくれるため理解できるのですが、専門の授業ではネイティブの先生の英語の為についていくのが難しいです。課題も文章を読んで感想や要約を書くものだと、そもそも読むことに時間がかかってしまうため多くの時間がかかってしまい大変です。

専門の授業では、今までなかった視点、アメリカの歴史からや多文化に関する視点から学ぶことができるため、新たな発見や興味を見つけることができました。

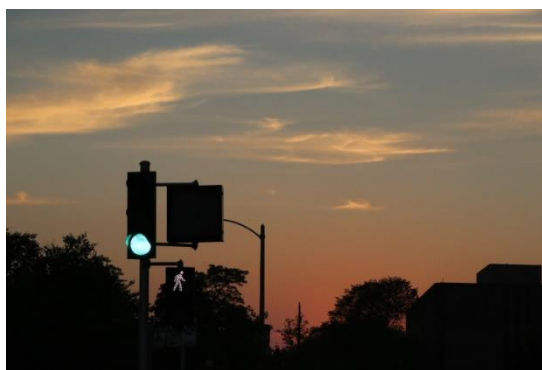
## ○語学

英語能力は学校の課題が多いため集中してやることはできていません。しかし、reading、writing は課題の中で必要なため向上している気がします。Speaking、listening は日常会話の中で使うため向上はするのですが、日常会話の listening は、早い英語で、かつスラングなども多く使われるため、もっと練習しなければならないと思うし、留学前にもっと準備しておけばよかったと思いました。

## 2. 生活の状況

## ○交通

私は渡航の時には 17 時成田発、15 時シカゴ・オヘア着の便に乗りました。そこから大学の pick up service を使い無料のバスでダウンタウンミルウォーキーに行き、その後 Uber taxi で大学に行きました。寮のフロントは 24 時間空いているため最悪遅くなっても大丈夫ですが、18 時ごろには寮につきました。



普段の移動は寮が学内にあるため徒歩ですが、出かけるときは大学で無用のバスパスがもらえたためバスで移動しています。

## ○学校

学内にはいくつか食べ物屋やカフェ、ジム、体育館、イベント、図書館があるため普段生活するには充分です。

## ○寮

UWM には主に 3 つの寮があり、交換留学生はどこを選んでも大丈夫なようです。

## ・ Sandburg

Sandburg は学内にある寮で私はここに住んでいます。部屋は 2 人部屋が 2 つと 1 人部屋が 1 つで 1 ルームになっています。寮内にカフェテリアとストアがあるため自炊しなくて済むのもいい点です。ただ、4 つ建物があるのですが east 以外は部屋古いためきれいではなく、キッチンも冷蔵庫もないためそこは困る点です。(冷蔵庫はレンタルできます) east 以外は一年生が多く住んでいるため、アメリカの一年生の生活を経験したい人にはちょうどいいと思います。

East は現地の 3 年生以上が入ることができ、新しい建物でキッチンもあります。

- Kenbridge

Kenbridge は学校から少し離れていますがシャトルバスが定期的に通っているため利用することができます。2人部屋が2つで1ルームになっています建物も新しく部屋も少し広く冷蔵庫は全部屋あるようで、キッチンがある部屋とない部屋があります。

- Kenilworth

Kenilworth も学校から離れていてシャトルを使います。街に近く賑やかで建物も新しいです。全部1人部屋でキッチンと冷蔵庫があります。

- 地域

サマーフェスやオクトーバーフェスなどイベントが多くあります。レストランやビアバー、カフェも多くあり、スーパーなどもあるため生活しやすいです。夏は五大湖で泳ぐこともできます。ただ、場所によっては治安が良くないところもあるので注意が必要です。



- 生活

寮は最初、ベッドマットしかないため初日にシーツや布団洗剤など生活必需品を買いに行きました。お金は日本で使っていたビザカードと、大学内の銀行で作ったビザカードに入金して使っています。学内の食事は meal plan のお金が学生証に入っているためそこから使うことができます。



- 体調

最初のころは水や気温の違いからか、咳が続いたりおなかを壊したりしたので、飲みなれていてる薬を持ってきていてよかったです。

### ○人間関係

多くの人と関わることができました。初日に他の日本人留学生と合流することでき、情報などの共有や買い出しに行くことができました。ルームメイトはアメリカ人なのでその友達などアメリカ人の友達ができ、サマーフェスはルームメイトたちと行きました。ただ、ネイティブの英語を聞き取るのは難しいです。セカンドランゲージの英語のクラスでは、韓国人や中国人などの留学生と仲良くなることもできました。



## 海外派遣留学プログラム報告書

(報告期間：2021/10/1 ～2022/1/23)

### 1. 勉学の状況

課題が日本の授業よりも多く、また日本語でやるよりも時間がかかってしまうため遅れてしまうこともありましたが、授業はすべてやりきることができました。冬休みが一か月くらいあり時間を自由に使うことができたので、もう少し計画的に勉強できればよかったなと思います。

### ○授業

今学期はすべての授業で単位を取得することができました。全体的な感想としては、どの授業でも毎回課題が出されるため、日本の授業よりも帰った後に時間をかけなければなりません。また、当たり前ですが読むのも書くのも英語の為、思っているよりも二倍以上の時間がかかってしまうことがよくありました。私の取っていた授業の先生方は優しい方が多く、提出が遅れてしまった時でも課題を受け取ってくれたため助けられました。授業によってはテストがあり、その準備に追われている友達もいましたが、私の取った授業の中にはテストがあるものがなく、ほとんどが最終課題を提出するものでした。

以下が今学期にとっていた授業とその感想です。

授業名	単	概要	感想	最終課題
EAP 101 (College Writing-Multilingual English)	3	要約や引用などアカデミックライティングの授業	英語を読む量も多く書く量も多く苦勞した。そのおかげで、英語を読むこと、書くことへの抵抗は少なくなったと思う。また、英語に限らず、大学でのペーパーの描き方を基礎から学べたため、ためになった。	○授業で取り扱ってきた教材を introduction, summary, 3~5 main topics, conclusion でまとめたペーパー
EAP 145 (Practice: Academic Listen & Speak English)	3	英語でプレゼンなど話す、聞く、を目的とした授業	比較的課題も重くなく、授業自体もきつくなかった。非ネイティブ用の授業だったため、韓国人の友達などを作ることができた。	○自分の将来 (Bucket list) の 5 分程度のプレゼンテーション
ED POL 112 (Introduction to Community Education)	3	コミュニティー教育を学ぶ	コミュニティー教育という学校以外での教育についての授業で、アメリカならではの教育の現状を知ることができた。テ	○2人グループで、授業で取り扱った項目のうち1つについての 8 ページ以上のペーパーとプレゼンテーション

			キストを読んで感想を書く課題が出され、読むのにはかなり時間がかかってしまった。	
ED POL 113 (The Milwaukee Community)	3	ミルウォーキーの歴史や現在	ミルウォーキーの歴史の授業で、成り立ちや主要な建物について知ることができた。教科書を読む必要があるため、ついていくのが大変で、数回ある課題もページ指定が少し多いため苦労した。	○ミルウォーキーにある団体や会社の一つについてのプレゼンテーション ○授業で取り扱ったことの一つについて調べた 7 枚以上のペーパー
ART ED 130 (Multicultural Art & Visual Learning Elem Ed)	3	アート教育の授業	日本でいう美術教育の授業であったが、文化や歴史と関係させた授業もあり面白かった。	○アートの授業を考え、それについて書いたペーパーと、その授業で使うボードを作成する。 授業でペアになってお互いにその授業を实践する。

### ○語学

英語は一对一の会話をすることや授業で先生が話していることを聞くことはできるのですが、ネイティブのグループでの会話ではおいてかれてしまうことがよくありました。語学学習については、授業があるうちは課題に集中してしまい勉強にはあまり時間を使えませんでした。冬休みを利用して、単語や文法を少しやり直したり、英語でスターウォーズとマーベルシリーズを見ることで英語に慣れることはできたと思います。

## 2. 生活の状況

### ○学校生活

学校の敷地内にジム、体育館、食堂、図書館、コーヒーショップ、ボーリングやビリヤードがあるため、普段は学内で過ごすことができます。私の平日は、午前中に授業に行き、寮のカフェテリアで昼食を食べ、午後は授業がなければ自室で休憩し、ジムに行き、図書館で課題をし、夜にカフェテリアで夜ご飯を食べた後、課題をやったり友達と遊んだりして過ごしていました。体育館ではいつでも誰かがバスケをしていてゲームに参加できます。他の国の人とバスケをした経験はなかったので楽しかったのですが、やはり体格差の壁はありました。

### ○交通

学校はそこまで広くないので徒歩で移動することができます。私はスケートボードを購入し移動手段にしていました。日本よりも道路が舗装されているため滑りやすく、雪が降る前までは

快適に滑ることができました。

電車はほとんど走っていないため、買い物や観光などで少し遠くへ移動するときにはバスを利用します。大学からバスパスがもらえるため、無料で利用できます。近くのスーパーまでは15分ほど、ダウンタウンまでは30分くらいで行くことができます。8ドルでミルウォーキー内にあるレンタルサイクルの年間パスを購入できたので、自転車も移動手段としてよく使っていました。

夜の6時以降は待ち時間はありますが、大学のタクシーのようなサービスを無料で利用するため比較的安全に移動できます。

シカゴにはAmtrakを使って、往復50\$くらいで行くことができます。シカゴでは電車が発達しているため移動にはあまり困りませんでした。

#### ○寮

私は値段の一番安いSandburgという、一年生が多く入る寮に住んでいますが、寮内にカフェテリア、コンビニサイズの店、自習室、コインランドリーがあるため基本的に寮内で生活できます。ご飯や買い物は学期初めにミールプランで学生証にチャージされたお金を利用します。寮の学生は一年生が多いためにぎやかな印象で、お互いの部屋を行き来している学生も多いです。金曜日には実家に帰る生徒が多いようで、土日は比較的静かになります。そのため学生が夜に遊びに出かけるのは木曜日が多いみたいです。

#### ○体調

11月の後半には雪が降り始めるほどに寒くなり、12月からはマイナス10度に達するほど寒い日もあるので、体調管理は大切です。建物内は全館暖房なので寒いと感じることは少なかったです。驚いたことは、コロナ禍ではあるもののあまり気にしていない人が多いことです。学校内や店などの決められたところでは全員マスクを着けていますが、飲食店やジムなどでは何人もの人がマスクを外していました。幸い自分は体調を崩すことはありませんでしたが、同じ日本からの交換留学生の友達で、コロナにかかってしまった人や、授業中に倒れてしまった人がいたため、明日は我が身と思って保険証を持ち歩いたり対処法を考えておいたりするなど、あらかじめ準備をしておくことが大切だと思います。

#### ○人間関係

私は2人部屋に住んでいるため、ルームメイトと過ごす時間が一番長かったです。木曜日の夜に遊びに出かけたり、冬休みにはルームメイトの家族の家に泊まったりしました。寮を申し込むときに寝る時間や部屋のきれいさなどのアンケートがあり、合いそうな人を同じ部屋にしているのだと思いますが、ルームメイトと気が合わないと辛いだろうなと思います。

UWMには日本からの交換留学生や日本人の正規の学生も数人いるため、英語につかれたときは遊びやご飯に出かけたりしました。

通常の授業ではアメリカの学生と関わる機会があり、英語が第二言語の人のための授業では韓国人学生をはじめとしたいろいろの国の人と仲良くなることができました。英語を勉強することで、お互いに言語が違う学生とコミュニケーションが取れるようになるのでとても新鮮に感じました。

## ○生活

### 10月

まだ行ったことのないところがたくさんあったので、新しいカフェやバーなどに行ったりしていました。10月は多くの家や教会がハロウィンの装飾をしていて見えて楽しかったです。ハロウィン前後はパンプキン彫りをしていたり、学生は仮装してパーティーをしたりと盛り上がっていました。

### 11月

11月にはサマータイムが終わるため、一日で一時間ずれる日があり初めての体験でした。11月の後半にはサンクスギビングデーのホリデーがあり、ルームメイトの家族の家に泊らせてもらい、親戚のパーティーに参加させていただきました。家が池のほとりにあり広く、親戚のパーティーではたくさんの食べ物があり、アメリカの家族を体験することができました。11月の後半には授業が終わり、冬休みが始まりました。

### 12月

冬休みには、ほとんどの学生が実家へ帰るため寮が静かになっていました。寮のカフェテリアも店も閉まってしまうため、キッチンが部屋にないのに全食自分で何とかしなければならず、レンジで調理できるものやUber eatsを使って生活していました。クリスマスには、またルームメイトの家に泊めていただき、アメリカの家族のクリスマスに参加させてもらえました。12月には雪が積もる日も多くなってきました。

### 1月

1月の後半には冬休みも終わり学校が始まりました。